

## 丹波市人権・同和教育協議会

# 人権ネットワーク たんば

第34号



発行 丹波市人権・同和教育協議会  
〒669-3309  
事務局 丹波市柏原町柏原3619  
TEL・FAX 0795-72-2770  
e-mail:tambashi-doukyou@kne.biglobe.ne.jp

## 2016年度 丹波市人権・同和教育協議会総会開催

- ▽会長に大西 誠さん、
- △副会長に足立宏規さん、臼井里佳さん
- 2016年度丹波市人権・同和教育協議会の総会を開催しました。

来賓として、辻重五郎丹波市長、小田繁雄丹波市教育長、森本正己丹波地区同教副会长にご臨席いただき、議長は市島中学校長の奥野隆之さんにお世話をなりました。

総会では、活動方針と予算が承認され、これに基づいて今年度の取り組みを進めることになりました。

み重ねてきた。その成果は目に見えるものではないが、着実なる歩みを感じられる。

しかし、県や丹波市において住民の意識調査をみると、同和問題やそれに係る課題が解決したとは言い難い。

また、他の人権に係ること、即ち、子どもや高齢者を取り巻く厳しい状況、障がいのある人への偏見やその人たちの社会参加、セクハラやパワハラ、DVなどの人権侵害等々、新たな課題や問題が私たちを取り巻いている。

特に、昨今、命が軽んじられる傾向があり、殺人・幼児虐待・いじめ・自殺など、人権の根本を搖るがす事件や事案が相次いで起っている。

これら現代社会が抱える問題を解決することが、温かい人間関係づくり・地域社会づくりへの根幹の課題であると考える。人権・同和問題の解決のために、そして教育の充実のために取り組む。

この協議会は、基本的人権の尊重、自由・平等・平和を基本理念として、部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃をめざして立ち上がったものである。ここでは、自覚と責任と使命を兼ね備えた市民の主体的な取り組みのもとに、市民みんなが幸せに暮らせるまちづくりや、人権文化があふれる地域づくりをめざしてそれぞれの立場で実践を積

### 会長あいさつ

#### 市同教のホームページを立ち上げました。

丹波市人権・同和教育協議会で検索してください!



丹波市人権・同和教育協議会

検索

この基本方針の冊子のなかに、「連する市民の意向」と題して、平成24年に実施された「人権に関する市民意識調査」が掲載されています。その意識調査の、同和問題に関しでの意見の一つに「学校や社会教育で同和問題について教えることは、



## 人権ネットワークたんば

4月に起こりました熊本の地震で被害が大きかつた益城町と西原村へボランティアへ行つて来たことからお話をさせていただきます。益城町と西原村は震度7の地震が2回起きた非常に被害が大きなところです。益城町は特にメロンやスイカが沢山作られていてるところですが、出荷のピーク時に災害が起きたので大きな打撃をうけられたと聞きました。ここには大きな避難所が2か所あり多くの方が避難されていました。避難所での活動は、避難物資の仕分けとか避難所の支援が主な作業でした。1つの避難所は当時1,500人ほど避



松浪 豊さん

# 高齢者福祉の現状と課題

大切に取り組んでいかなければならぬ  
いと改めて考へてゐるところでござい  
ます。

どうか引き続きご理解とご協力をよ  
ろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、今後ますます  
この協議会が発展することを祈願いた  
しましてあいさつとします。

ある高齢者の一人暮らしのご婦人に話を聞いたのですが、余震に対する恐怖心から体調が悪く、特に血圧が上がつたり、足がむくんだり、腰が痛いということをおつしやつてました。病院にも行きたいし、自分の家も見たいと思っても、避難所からの交通手段がなく、避難所も知らない人が多く助けを求めることもあります。きないとか、近所の人と携帯で話はするが、いくら近所の人でも交通手段のお願いはできなかつたりと、みんな不便だけど我慢して避難生活を続けてると話されました。次に西原村に行きますと、たくさん建物が崩壊しているのですが、危険と赤い紙がはつてある家に出入りされてい

少なかつた  
しかし  
1週間もする  
と、おむつも幼児用から大人用も保  
管されてあつたり、炊き出しも始ま  
り、幼児食、老人介護食もあつて、  
生活弱者にも配慮がなされていまし  
た。また、入浴施設が使えたので兵  
庫県からのボランティアで介助従事  
者を募り、高齢者等の入浴介助を行  
つたりしました。ただ避難所の様子  
として、プライバシーが確保できな  
い生活は過酷であり車中泊する避難  
者も多く見られました。

## 高齢者の現状

本日は丹波市の高齢者の現状と環境をお話させていただきます。市役所が公開されている資料によりますと、丹波市の人口は平成28年3月末現在66,639名で65歳以上の方が21,020名。65歳以上の高齢化率は31.6%になります。後期高齢者の方(75歳以上)は16.8%で、6人に1人は後期高齢者ということになります。この高齢者の中で一人暮らしの高齢者は丹波市社協がご協力頂いて調べた数は27年度で1,621人いらっしゃいます。男女比は不明ですが多くの方が独居世帯になつているのが現状です。丹波市の第6期介護保険計画の資料の数字ですが、高齢者要支援要介護認定者が推定で28年度には4,323人と予測されています。65歳以上の20%の方が介護が必要な状態にならざることが予測できます。認知症の方の数ですが、厚労省の調査では65歳以上の高齢者で認知症を発症している数は全国推計約15%で患者数は2012年度で4

62万人にのぼり、この15%から考えると丹波市は65歳以上の方でなんらかの認知症症状が発症している方が3、150人ほどいらっしゃるということになります。

## 人権ネットワークたんば

ただ、認知症にも大きく分けると2つのタイプがあり、1つは脳血管性認知症で脳の血管が詰まつたり破裂してその先の脳の細胞が死滅して起る認知症と、日々に進行するアルツハイマー型認知症があります。アルツハイマー型認知症の原因は、脳に老人斑という黒い点がついて神経細胞が壊れていく、脳が痩せていく病気です。認知症にはこの2種類があります。脳血管性認知症の場合は、血管が詰まつて脳に血液がいかなくなるのでいつきに症状が出ますが、アルツハイマー型認知症は徐々に進行していく病気なので、ゆっくり能力が低下していきます。認知症になりますと、どうしても家族の方の介護が必要になります。症状が出てきますと今まで出来ていたことが出来なくなったり、でも、本人は全く以前と同じ表情をされているので家族の方は、最初は受け入れることができません。ですから、介護についても少しならできるじゃないかなという思いで介護をされます。認知症は、あくまで病気ですよといふ認識がなかなか定着しないので、こうやつたらどうだろうと色々なことを試されます。なかなかうまくいかないと身体的な拘束だつたり虐待であつたり介護の放棄であつたりといふことが介護の方に現れてしまします。拘束というのは、徘徊をされて、周りに迷惑をかけてはいけ

ないとか、本人に危険があつてはいけないということでお家の中に閉じ込めてしまふ場合です。ただ単に世間体で拘束される場合もあります。やはり、介護している中で、今まで出来ていたことが出来なくなるので、それを強く言つてはいるうちに身体的な虐待や、暴言を吐いたりして、精神に圧迫を加えたりということが起こります。こういうことが丹波市内でも起こっています。介護しても抵抗されたり、言うことを聞いてくれないので全く介護をしないということも起こっています。介護して本來家族として思いやりをもつて接して生活をされてきた中で、この病気によつて家族の和が崩れてしまつて生活ができなくなる、あるいは家族が十分な手助けをしないということが実際に起つてしまします。先ほどの徘徊は目的もなく家を出て行く、近所を歩きまわられる、そういうことを世間の人を見てどの様に思われるのだろう?ということで近所の方との信頼感もなくしてしまいます。社協には認知症専門のデイサービスがあります。よくよく徘徊を観察していくと、單に目的がなく歩いているのではなくて、昔の生活習慣、例えば、車の運転を仕事にされていた方は、仕事しようと思つけどその車が見当たらないので探しているとか、あるいは、大工さんだと自分の仕事の鞄、金槌がど

こにいったのか探しているとか、口に出して言いませんが一生懸命探し出されたということが報告されています。本人は目的があつて徘徊されていますが、家族の方は時間がなくきちんと聞いてあげないので、單にうろうろしている、どこかに行こうとしていると片付けてしまいます。そのあたりを注意深く聞いてみると、それが達成されると気がすんで家に戻られます。家族の方はなかなかそこまで関わるのが難しかつたりするので、結果、拘束したり虐待に繋がつていくのだろうと思います。そうなると、人として尊重されないので人権的にも侵されることになつてしまします。

### ユマニチユード

そこで、認知症高齢者との望ましい接し方というところで、忙しい中でも視点を変えてみたら、介護される側、介護する側も様子が変わつてくるという、フランス発で「ユマニチユード」(人であることを尊重する)というのが注目されています。最近、NHKの番組などでも特集が組まれています。4つのことを心がけるだけで、介護する方は驚くほど気持ちが楽になつたり、介護される方は快適に穏やかになつります。4つの手法は1つ目「見つめること」2つ目「話しかけること」3つ目「触れる」と4つ目「立つこと」です。この4つを心がける

だけで関係がよくなるということです。では見つめるとはどういうことかと言いますと、同じ目の高さで20cmほどの近距離で親しみをこめて、0.4秒以上じっくりと見つめる。お互いの関係が平等であること伝えます。お互いに座つてらつしやると自分も膝をついで目の高さを同じにする。2つ目の話しかけることは、低めのトーンで話すときは、さっぱりしますよ柔らかな抑揚で、お元気そうといつたポジティブな内容で話かける。ケアをするときは、さつぱりしますよとか綺麗になりましたねとか、ケアする内容をゆっくり実況するように優しく声かけをすると介護されている方も安心され理解されます。例えば、入浴介助で体を拭こうとする時に、急に腕を持って拭こうとするとき、危険を感じて腕を引っ込みてしまい、そうすると大きな声が出たりして拒否が起つてしまします。優しく声かけをすると、単なる作業ではなく心のこもつたケアになります。3つ目は触れるのですが、ゆっくり撫でるように広い面で優しく触れることがあります。これは相手とのスキンシップを取るのに大事なことで落ち着いてもらなうことができます。4つ目は立つ事をサポートするということです。認知症の方ができるだけ寝たきりにならぬよう立つこと歩くことをサポートする。

## 人権ネットワークたんば

この4つのことをやることで、随分と変わることができます。介護する側が介護される側に安心感を与えて優しい気持ちで接することが非常に大事だと思います。最後までそのことは大切にするユマニチュードの考え方が原点になります。実際に介護現場では従来からこの4つのことはやってきたことではあります。理論立て効果を計ることについて注目をあげています。再確認でいたことは大事だと思います。

では、認知高齢者の方にはどんな行政の施策があるのかといいますと、丹波市は、春日にあります高齢者安心センターがあります。そこでは介護や制度に関するさまざまなお話を受けて頂けます。在宅介護支援センターは市内に6ヶ所ある特別養護老人ホームに設置されてまして、地域包括センターの出先という形で対応いただけることになっています。在宅福祉サービスということで、例えば判断力が低下している方の成年後見制度の利用事業であったり、徘徊などの見守り、認知高齢者見守り事業、認知症介護者の相談、認知症介護者のつどい、高齢者権利擁護相談などが行われています。この他にも、大塚病院の中に認知症疾患医療センターがあつたり、社協の中でも相談窓口があつたりとさまざまなことが行われております。

この4つのことをやることで、随分と変わることができます。介護する側が介護される側に安心感を与えて優しい気持ちで接することが非常に大事だと思います。最後までそのことは大切にするユマニチュードの考え方が原点になります。実際に介護現場では従来からこの4つのことはやってきたことではあります。理論立て効果を計ることについて注目をあげています。再確認でいたことは大事だと思います。

では、認知高齢者の方にはどんな行政の施策があるのかといいますと、丹波市は、春日にあります高齢者安心センターがあります。そこでは介護や制度に関するさまざまなお話を受けて頂けます。在宅介護支援センターは市内に6ヶ所ある特別養護老人ホームに設置されてまして、地域包括センターの出先という形で対応いただけることになっています。在宅福祉サービスということで、例えば判断力が低下している方の成年後見制度の利用事業であったり、徘徊などの見守り、認知高齢者見守り事業、認知症介護者の相談、認知症介護者のつどい、高齢者権利擁護相談などが行われています。この他にも、大塚病院の中に認知症疾患医療センターがあつたり、社協の中でも相談窓口があつたりとさまざまなものがあります。

### 父の例から

最後に私の父の話ですが、数年前のある時、車を運転していく普段絶対に通れないところを通つて堤防から落ちて泥だらけになつたところを近所の方に助けてもらつたことがあります。違和感はあつたのですが、それから1年くらいは何事もなく生じました。でもある時、近所の方がお父さんと話をすると、同じ話をすると「うのを聞き、認知症じゃないかと言われて初めてそうかなと感じました。それから車も危ないので免許を返還したら、そのままから家の中に閉じこもりがちになりました。物忘れも激しくなり、ご飯も何回も食べるようになりましたが、自然に任せて、家族で見守つていこう」ということになりました。でも、ふらつと外へ出て散歩してなかなか帰つて来なかつたり、途中でこけたりして近所の方に助けてもらつたりと、いうことが増えてきましたが、母親や家族、近所の方のおかげで5年ほど本人も自分でできることはして家で生活しておりました。しかし、昨年転倒して骨を折つてしまい手術入院しました。そして、絶対に立てないと言われていましたが、リハビリの先生方の優しい励ましがあり本人も頑張つて立ち上がることができました。今までに回復しました。今は施設にお世話になり、色々な方の助けによつて、自分の思いのまま生活させて

頂いております。

### おわりに

私の父の場合、本当にご近所の方の温かい見守りや、介護施設の方とうまく接することができたおかげで、ありがとうございました。認知症患者だけに限らず、介護というのは本当に家族だけではなかなか支えていけないので、色々なサービスを受けながら、またいろんな方と関わりながら介護していくというのが大事だと思います。

今後、高齢者の方や認知症の方は確実に増えていく中で、いざという時に助け合える関係にあると、その人が自宅で尊厳を持ち尊重されながら生活できるのではないかと思われます。最初に話した災害が起こった時なども、普段からきちんとお付き合いすることができます、これに繋がっていくと思います。これからは地域の中で高齢者問題だつたり、災害であつたり色々な問題が起つたときにお互いが、支え合い思いやりをもつて生活できる、そうなることが丹波市、または全国的にも目指していかなければならぬことだと思います。今後、皆さまの中で人権が尊重でき、それが支え合える環境を作つていくことが大事ではないかと思います。今日はどうもありがとうございました。

### 研究大会・研修会のご案内

#### (1) 兵人教丹波地区大会

7月30日(土) 13:00 開会

▽篠山市立四季の森生涯学習センター他

#### (2) 人権教育研修会(学校教育分野)

8月19日(金) 13:30 開会

▽氷上保健センター

講師 大阪大学大学院人間科学

研究科 研究科

准教授 高田 一宏さん

#### (3) 人権ゆかりの地探訪

(市内フィールドワーク)

8月25日(木) 9:30~15:30

▽市島町 ライフピアいちじま

○市島町 「愛育堂」と大野唯四郎

○市島町 神池の建設と吉見伝左衛門

講師 市島史研のみなさん

#### (4) 人権教育研修会(社会教育分野)

9月16日(金) 19:30 開会

▽柏原住民センター(予定)

講師 三木市人権同和教育協議会

副会長 春川 政信さん

#### (5) 兵人教中央大会

10月1日(土)・2日(日) ▽芦屋市

▽大阪市(熊本市を変更して)

#### (6) 全人教 研究大会

11月26(土) 12:30 開会

▽春日文化ホール

○講演 「人権講演ライブ」

○講師 盲目のヴァイオリニスト

#### (7) 丹の里 人権のつどい

12月11日(日) 12:30 開会

○人権作品表彰と人権作文朗読

○人権活動事例発表 (中学校部会)

(女性部会)

増田 太郎さん

# 親に対して 今だから言える ごめんなさい



私が小学生の時に、少女バレーの試合を「見に来ないで」と言ってごめんなさい。人一倍よく喋る父がはすかしく「試合を見たい」という父に何度も言ってしまいました。その頃は自分の事しか考えずごめんなさい。私も親になり、子を思う親の気持ちがよく分かるようになりました。今更だけど応援ありがとうございます。

&lt;40歳&gt;

ひとり住まいをさせている母に申しわけないと思い、電話をかける毎日です。数年前から、同じ内容を何度もくり返し話をする母にいら立つ自分がいました。「もう昔の話は、ええわ。」と言う私の言葉にその話をしなくなったり。ひとり住んでいる寂しさを、昔の自慢話で補なおうとしていたんだろう。……ごめんなさい。

&lt;51歳&gt;

「子を持って初めて分かる親の気持ち」と昔から言いますが、今この言葉の意味がようやくわかってきた年齢になってきました。親の気持ち、子の気持ち、それぞれの思いが1つになるのが1番いいのですが中々そうもいかず、よくぶつかり対立したものです。その度、ひどい言葉を投げつけていたのを思い出しました。最近、反抗期の息子にえらそうに言われ腹が立つ事も多いです。お母さん、あの時はごめんなさい。順番なのでしょうかね。

&lt;43歳&gt;

歳を重ねるごとに素直に「ありがとうございます」と言う機会が少なくなってしまい、ごめんなさい。いつまでも「子どもであたり前」かのように甘えてしまってごめんなさい。大切な人に大事な気持ちや言葉を伝えられるよう、これからの日々をできるだけ素直に生きていこうと思います。

&lt;43歳&gt;

大阪の御両親へ。  
一人娘で、大切に育ててこられた娘さんを文句の一つも言わず丹波の地にとつがせていただきありがとうございます。私が、丹波の地にこだわってしまってごめんなさい。

&lt;43歳&gt;

今年度の基本方針に基づいて、各部会で【高齢者の人権】認知症と共に生きる】がテーマのDVDD「ここから歩き始める」を使用しています。高齢者的人権問題は、認知症高齢者を抜き体験を通して正しく学習し変化していく息子のすぐたが、学びの題材です。自治会での住民学習にも使用されるので、ぜひこのDVDDを見て頂き学習を深めてください。

編集後記

80才を過ぎてすっかり弱々しくなったお母さんに、いつもえらそうにきつく当たってしまってごめんなさい。私達姉妹が小さい頃、朝早くから夜遅くまで、お父さんと一緒に自営業での重労働と家事を両立し、私達を育ててくれたことは忘れていません。お父さんが亡くなった時、大変だったのに学生の私は何もできなくてごめんなさい。お母さんにはばかり、しんどい思いをさせてしまいました。今も一緒に暮せなくてごめんなさい。謝ることはたくさんあります、面と向かってはなかなか言えません。でも、いつも感謝しています。ありがとうございます。

&lt;50歳&gt;

## 無料 お試し購読 受付中!!

詳しくは下記へ  
お問い合わせ下さい  
地域のニュース読むなら  
**丹波新聞**

話題が  
豊富!詳しいは下記へ  
お問い合わせ下さい  
地域のニュース読むならTEL.0795-72-0530 FAX.0795-72-1956  
丹波新聞 検索

長年の知識と確かな技術と  
自由な発想—  
新しい業務スタイルを提案します。

防犯カメラ

防犯設計から施工まで  
徹底サポート!  
安心と安全のために社内の  
セキュリティ対策

- 情報漏えい
- 不正アクセス、
- なりすまし
- 改ざん等確実にブロック
- ハードによる  
ファイヤーウォールシステム



**日本**の旅 / **世界**の旅  
予約受付中  
あなたの旅を応援します!

団体旅行・グループ旅行・個人旅行などお気軽にご相談下さい

- UTB-近畿日本ツーリスト・日本旅行などの海外パック旅行/国内パック旅行の手配
- 宿泊のみの手配や食事・観光施設の手配も行います
- 貸切バス・航空券・JR券・フェリー券など各種船車券の手配も行います
- 格安海外航空券・海外のホテルの手配・パスポートの代理申請

など幅広いご要望にお応えいたします

○お申込み・お問い合わせ

関西旅行社・ 丹波市柏原町柏原（JR柏原駅構内）  
おまでご来店お新規ロータリーやおは新規市役所構内  
（お申込み料金）をご利用くださいTEL (0795) 72-0325 FAX (0795) 72-2416  
E-mail:kansai-ryoko@mxa.nkansai.ne.jp

株式会社 ユニットシステム  
株式会社 ユニットシステム  
UnitSystem Corporation  
http://www.unitsystem.jp/  
E-mail: info@unitsystem.jp